

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
1 共通編	3 一般施工	3 共通の工種	10		防止柵工 (立入防止柵) (転落(横断)防止柵) (車止めポスト)	基礎	幅 w	-30
							高 さ h	-30
						パイプ取付高H		+30 -30
1 共通編	3 一般施工	3 共通の工種	11	1	路側防護柵工 (ガードレール)	基礎	幅 w	-30
							高 さ h	-30
						ビーム取付高H		+30 -20
1 共通編	3 一般施工	3 共通の工種	11	2	路側防護柵工 (ガードケーブル)	基礎	幅 w	-30
							高 さ h	-30
							延 長 L	-100
						ケーブル取付高H		+30 -20

-20

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値					
1 共通編	3 一般施工	4 基礎工	9		鋼管井筒基礎工	基 準 高 ∇	± 100					
						根 入 長	設計値以上					
						偏 心 量 d	300以内					
1 共通編	3 一般施工	5石・ブロック積(張)工	3	1	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積み) (コンクリートブロック張り)	基 準 高 ∇	± 50					
						法長 ℓ	$\ell < 3 \text{ m}$	-50				
							$\ell \geq 3 \text{ m}$	-100				
						厚さ(ブロック積張) t_1						-50
						厚さ(ブロック積張) t_2						-50
						延 長 L						-50
1 共通編	3 一般施工	5石・ブロック積(張)工	3	2	コンクリートブロック工 (連節ブロック張り)	基 準 高 ∇	± 50					
						法 長 ℓ						-100
						延 長 L_1, L_2						-200
1 共通編	3 一般施工	5石・ブロック積(張)工	3	3	コンクリートブロック工 (天端保護ブロック)	基 準 高 ∇	± 50					
						幅 w						-100
						延 長 L						-200

-200

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
1 共通編	4 土工	4 道路 土工	3 4		路体盛土工 路床盛土工	基 準 高 ∇	± 50	
						法 長 ℓ	$\ell < 5 \text{ m}$	-100
							$\ell \geq 5 \text{ m}$	法長-2%
						幅 $w_1 \ w_2$	-100	
1 共通編	4 土工	4 道路 土工	5		法面整形工(盛土工)	厚 さ t	-30	
1 共通編	5 無筋、 鉄筋コンクリート	5 鉄筋	3 鉄筋の 組立て		鉄筋の組立て	平 均 間 隔 d	$\pm \phi$	
						か ぶ り i	$\pm \phi$ かつ 最小かぶり 以内	

以上

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
2 河川・水路編	5 堰・頭首工	16 橋梁附属物工(コンクリート管理橋)	2 伸縮装置		伸縮装置工 (ゴムジョイント)	据 付 け の 高 さ	舗装面に対し 0~-2	
						表 面 の 凹 凸		
						仕 上 げ 高 さ	舗装面に対し 0~-2	
2 河川・水路編	5 堰・頭首工	16 橋梁附属物工(コンクリート管理橋)	2 伸縮装置		鋼製フィンガージョ イント	高	据 付 け 高 さ	±3
						さ	車 線 方 向 各 点 誤 差 の 相 対 差	3
							表 面 の 凹 凸	3
							歯 型 板 面 の 歯 咬 み 合 い 部 の 高 低 差	2
							縦 方 向 間 隙	±2
							横 方 向 間 隙	±5
							仕 上 げ 高 さ	舗装面に対し 0~-2
2 河川・水路編	5 堰・頭首工	16 橋梁附属物工(コンクリート管理橋)	4 地覆工		地覆工	地 覆 の 幅 W_1	+20~-10	
						地 覆 の 高 さ h	+20~-10	
						有 効 幅 員 W_2	+30~0	
2 河川・水路編	5 堰・頭首工	16 橋梁附属物工(コンクリート管理橋)	5 6		橋梁用防護柵工 橋梁用高柵工	幅	-5~+10	
						高 　　　　　さ h	±10	

3

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
2 河川・水路編	7 床止め・床固め	3 床止め工	6 本体内工	1	床固め本体内工	基準高 ∇	± 30
						天端幅 W_1	-30
						堤幅 W_2	-30
						水通し幅 $\frac{L_1, L_2}{\ell_1, \ell_2}$	± 50
2 河川・水路編	7 床止め・床固め	3 床止め工	6 本体内工	2	植石張り		
2 河川・水路編	7 床止め・床固め	3 床止め工	6 本体内工	3	根固めブロック	基準高 ∇	層 積 ± 100
							乱 積 $\pm t/2$
						厚 さ t	-20
						層 幅 W_1, W_2	-20
						積 延長 L_1, L_2	-200
						乱 幅 W_1, W_2	$-t/2$
						積 延長 L_1, L_2	$-t/2$
2 河川・水路編	7 床止め・床固め	3 床止め工	7		取付擁壁工	基準高 ∇	± 50
						厚 さ t	-20
						幅 W_1, W_2	-30
						高さ $h < 3\text{ m}$	-50
						高さ $h \geq 3\text{ m}$	-100
						延 長 L	-200

測 定 項 目	規 格 値
堤長 L_1, L_2	-100
水通し幅 ℓ_1, ℓ_2	± 50

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
2 河川・水路編	7 床止め・床固め	3 床止め工	8 水叩工	1	水叩工	基 準 高 ∇	± 30
						厚 さ t	-30
						幅 W	-100
						延 長 L	-100
2 河川・水路編	7 床止め・床固め	3 床止め工	8 水叩工	2	巨石張り	基 準 高 ∇	± 500
						法 長 l	-200
						延 長 L	-200
2 河川・水路編	7 床止め・床固め	3 床止め工	8 水叩工	3	根固めブロック	基 準 高 ∇	
						層 積	± 100
						乱 積	$\pm t/2$
						厚 さ t	-20
						層 幅 W_1, W_2	-20
						積 延 長 L_1, L_2	-200
						乱 幅 W_1, W_2	-t/2
						積 延 長 L_1, L_2	-t/2
2 河川・水路編	7 床止め・床固め	4 床固め工	4		本堤工	基 準 高 ∇	± 30
						天 端 幅 W_1	-30
						堤 幅 W_2	-30
						水 通 し 幅 $\frac{L_1, L_2}{l_1, l_2}$	± 50

測 定 項 目	規 格 値
堤長 L_1, L_2	-100
水通し幅 l_1, l_2	± 50

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
2 河川・水路編	7 床止め・床固め	4 床固め工	5		垂直壁工	基 準 高 ∇	± 30
						天 端 幅 W_1	-30
						堤 幅 W_2	-30
						水 通 し 幅 $\begin{matrix} L_1 & L_2 \\ \ell_1 & \ell_2 \end{matrix}$	± 50
2 河川・水路編	7 床止め・床固め	4 床固め工	6		側壁工	基 準 高 ∇	± 30
						天 端 幅 W	-30
						長 さ L	-100
2 河川・水路編	7 床止め・床固め	4 床固め工	7		水叩工	基 準 高 ∇	± 30
						厚 さ t	-30
						幅 W	-100
						延 長 L	-100
2 河川・水路編	7 床止め・床固め	5 山留擁壁工	3		コンクリート擁壁工	基 準 高 ∇	± 50
						厚 さ t	-20
						幅 W_1 W_2	-30
						高 さ $h < 3$ m	-50
						高 さ $h \geq 3$ m	-100
						延 長 L	-200

測 定 項 目	規 格 値
堤長 L_1, L_2	-100
水通し幅 ℓ_1, ℓ_2	± 50

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
6 道路編	1 道路開設・改良	4 法面工	5 6 7		アンカー工 ロックボルト工 P C法枠工	削 孔 深 さ L	設計値以上
						配 置 誤 差 d	100
						せ ん 孔 方 向 θ	± 2.5 度
6 道路編	1 道路開設・改良	4 法面工	7 かご工		じゃかご	法 長 ϕ	-100
						$\phi < 3$ m	-50
						$\phi \geq 3$ m	-100
						厚 さ	-50
					かごマット	法 長 ϕ	-100
						厚 さ t	-0.2 t
						延 長 L	-200
6 道路編	1 道路開設・改良	4 法面工	7 かご工		ふとんかご	高 さ h	-100
						延 長 L ₁ L ₂	-200
6 道路編	1 道路開設・改良	5 擁壁工	3		既製杭工		
6 道路編	1 道路開設・改良	5 擁壁工	4		場所打杭工		

削除

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
6 道路編	1 道路開設・改良	5 擁壁工	5		現場打擁壁工	基 準 高 ∇	± 50
						厚 さ t	-20
						幅 w_1 w_2	-30
						高さ h $h < 3m$	-50
						高さ h $h \geq 3m$	-100
						延 長 L	-200
						裏 込 厚 さ	-50
6 道路編	1 道路開設・改良	5 擁壁工	6		プレキャスト擁壁工	基 準 高 ∇	± 50
						延 長 L	-200
6 道路編	1 道路開設・改良	5 擁壁工	7		補強土壁工	基 準 高 ∇	± 50
						高さ h $h < 3m$	-50
						高さ h $h \geq 3m$	-100
						鉛 直 度 Δ	$\pm 0.03h$ かつ ± 300 以上
						延 長 L	-200

以内

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
6 道路編	2 舗装	6 標識工	4		土留・仮締切工		
6 道路編	2 舗装	6 標識工	5 大型標識工	1	標識基礎工	基 準 高 ∇	□
						幅 w_1 w_2	-30
						高 さ h	-30
6 道路編	2 舗装	6 標識工	5 大型標識工	2	標識柱工	設 置 高 さ H	設計値以上
6 道路編	2 舗装	7 道路付属施設工	3		区画線工		
6 道路編	2 舗装	7 道路付属施設工	4		縁石工		

削除

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
6 道路編	3 橋梁下部	6 鋼製橋脚工	9 橋脚フーチング工	1	橋脚フーチング工 (I型) (T型)	基準高 ∇	± 20
						幅 (橋軸方向) w	-50
						高さ h	-50
						長さ l	-50
6 道路編	3 橋梁下部	6 鋼製橋脚工	9 橋脚フーチング工	2	橋脚フーチング工 (門型)	基準高 ∇	± 20
						幅 w_1 w_2	-50
						高さ h	-50
6 道路編	3 橋梁下部	6 鋼製橋脚工	10 橋脚架設工	1	橋脚架設工 (I型) (T型)	基準高 ∇	± 20
						橋脚中心間距離 l	± 20
						支間長及び 中心線の変位	± 50
6 道路編	3 橋梁下部	6 鋼製橋脚工	10 橋脚架設工	2	橋脚架設工 (門型)	基準高 ∇	± 20
						橋脚中心間距離 l	± 30
						支間長及び 中心線の変位	± 50
6 道路編	3 橋梁下部	6 鋼製橋脚工	11 現場継手工		現場継手工	現場継手部のすき間 δ (mm)	5

± 30

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
6 道路編	5 コンクリート橋上部	3 工場製作工	2		プレビーム用桁製作工	部	フランジ幅 w (m) 腹板高 h (m)	$\pm 2 \dots w \leq 0.5 \pm$ $\pm 4 \dots$ $0.5 < w \leq 1.0$ $1.0 < w \leq 2.0$ $\pm (3 + w/2) \dots$ $2.0 < w$
						材	フランジの 直 角 度 δ (mm)	$w/200$
						部材長 l (m)	$\pm 3 \dots l \leq 10$ $\pm 4 \dots l > 10$	
6 道路編	5 コンクリート橋上部	3 工場製作工	3		橋梁用防護柵製作工	部 材	部材長 l (m)	$\pm 3 \dots l \leq 10$ $\pm 4 \dots l > 10$
6 道路編	5 コンクリート橋上部	3 工場製作工	4		鋼製伸縮継手製作工	部 材	部材長w (m)	$-5 \sim +10$ $\dots w \leq 10$ $-5 \sim$ $+ (5 + w/2)$ $\dots w > 10$
						仮 組	組合せる伸縮装 置との高さの差 δ_1 (mm)	設計値 ± 4
						立 時	フィンガー の食い違い δ_2 (mm)	± 2

3

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
6 道路編	橋5 上部 コン クリ ート	6 床版・ 横組 工	2		床版・横組工	幅 w	0~+30	
						厚 さ t	-10~+20	
6 道路編	5 コン クリ ート 橋上 部	7 支 承 工	2	1	支承工 (鋼製 支承)	据 付 け 高 さ	±5	
						可動 支承 の橋 軸方 向の ずれ	±10	
						支 承中 心間 隔(橋 軸直 角方 向)	±5	
						下 沓の 水 平 度	橋 軸 方 向	1/100
							橋 軸 直 角 方 向	1/100
						同 一 支 承 線 上 の 可 動 支 承 の ず れ の 相 対 誤 差	±5	
6 道路編	5 コン クリ ート 橋上 部	7 支 承 工	2	2	支承工 (ゴム 支承)	据 付 け の 高 さ	±5	
						支 承 中 心 間 隔	±10	
						下 沓の 水 平 度	橋 軸 方 向	1/300
							橋 軸 直 角 方 向	ただし、1mm 未満は±1mm
6 道路編	橋5 上部 コン クリ ート	8 橋梁 付属 物工	2	1	伸縮装置工 (ゴム ジョイ ント)	据 付 け 高 さ	舗装面に対し 0~-2	
						表 面 の 凹 凸	3	
						仕 上 げ 高 さ	舗装面に対し 0~-2	
6 道路編	5 コン クリ ート 橋上 部	8 橋梁 付属 物工	2	2	伸縮装置工 (鋼フ ィンガ ージョ イ ント)	高 さ	舗 装 面 に 対 し	±3
							車 線 方 向 各 点 誤 差 の 相 対 差	3
						表 面 の 凹 凸	3	
						歯 型 板 面 の 歯 咬 み 合 い 部 の 高 低 差	☒	
						縦 方 向 間 隙	±2	
						横 方 向 間 隙	±5	
						仕 上 げ 高 さ	舗装面に対し 0~-2	

2

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値		
9 農地編	2 ほ場整備工	3 整地工			整地面積	形状寸法	各 筆	±5%		
							全 体	-0.2%		
					表土扱	厚	さ	-20%		
					基盤整地 表土整地	基 準 高	±150			
		均 平 度	±50							
		畦畔工	高	さ	-50					
			幅		-50					
		5 用・排水路工					水路工 (土水路)	基 準 高	±100	
								幅	-75	
								高	さ	-75
								延長	200m 未 満	-400
									200m 以 上	-0.2%
	4 道路工									
		路 盤 厚 さ T	-45							
		幅 B	-100							
		延長	200m 未 満	-400						
			200m 以 上	-0.2%						
		6 暗渠排水工					吸水渠			
	間 隔							±750		
	延長							500m 未 満	-1,000	
								500m 以 上	-0.2%	
						集水渠 導水渠	布 設 深	-75		
							延長	500m 未 満	-1,000	
								500m 以 上	-0.2%	

-1,000

1 浚渫、床掘り、埋立及び裏埋め

編	章	節	条	枝番	工種	管理項目	測定方法	測定密度	測定単位	結果の整理法	許容範囲	備考	
11 港湾・漁港編	1 浚渫及び床掘	1 浚渫	2 施工		1) 浚渫(土砂)	水深 (底面) (法面)	⊕による。	⊕による。	10cm	平面図に実測値を記入し提出	+0 -規定しない 又はに⊕による	+;設計値より浅いことをいう。 -;設計値より深いことをいう。	
							⊕検測方法による。	測線間隔は⊕による。	10cm	平面図に実測値を記入し提出	+0 -規定しない 又はに⊕による		
					2) 浚渫(岩盤)	水深 (底面) (法面)	⊕による。	⊕による。	10cm	平面図に実測値を記入し提出	+0 -規定しない 又はに⊕による		
							⊕による。	測線間隔は⊕による。	10cm	平面図に実測値を記入し提出	+0 -規定しない 又はに⊕による		
					3) 床掘り	水深 (底面) (法面)	⊕による。	測線間隔は⊕による。	10cm	平面図に実測値を記入し提出	+0 -規定しない 又はに⊕による		断面図は監督員が指示したとき作成し提出
							⊕による。	測線間隔は⊕による。	10cm	平面図に実測値を記入し提出	外側2cm (法面に直角) 内側30cm (法面に直角) 又はに⊕による。		
11 港湾・漁港編	13 埋立及び裏埋	1	3 施工		4) 埋立裏埋	地盤高 (陸上部)	レベル等により測定。	測線間隔20m以下 測点間隔20m以下	1cm	平面図に実測値を記入し提出	⊕による。	変化点は測定する。	
						地盤高 (水中部)		測線間隔20m以下 測点間隔20m以下	10cm	平面図に実測値を記入し提出	⊕による。	変化点は測定する。	

※⊕：図面及び特記仕様書

±30cm
又は⊕による